

※交付申請では、下記のファイル又はシートを印刷したものを提出してください。

提出先	提出書類	備考
交付申請等受付システム	簡易自己診断ツール (エクセルファイル全体)	
メール	同上	
郵送	●以下シートを印刷したもの ・使用量と光熱費 ・算定した設備 ・診断結果【更新】	※書類審査・補正にて、エクセルファイルの提出を求める場合があります。

※本エクセルファイルは、申請書類の一つです。

※シートの削除、入力セル以外の記載の変更等をしないでください。

※不明点等があれば、事務局へお問い合わせください。

### 事業所のエネルギー使用量の把握

1. 事業エネルギー使用量の把握

項目	消費設備	消費量	CO2削減率	(省電)CO2削減効果
電機	照明	0.00	0.00	0.00
暖房	ボイラ	0.00	0.00	0.00
給湯	ボイラ	0.00	0.00	0.00
冷房	空調機	0.00	0.00	0.00
給湯	給湯機	0.00	0.00	0.00
合計		0.00	0.00	0.00

2. 事業エネルギー使用量の把握

項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
電機	kWh/月																	
暖房	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
給湯	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
冷房	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
給湯	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

3. 事業エネルギー使用量の把握

項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
電機	kWh/月																	
暖房	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
給湯	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
冷房	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
給湯	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. ボード及び付録

項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
電機	kWh/月																	
暖房	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
給湯	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
冷房	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
給湯	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

### 照明的更新

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
消費電力	kWh/年	0.00	0.00	0.00	0%
CO2削減	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	0.00	0.00	0.00	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

※記入例シートをご覧の上、設備更新による削減量を算定してください。

項目	更新前	更新後	削減量	削減率
消費電力	0.00	0.00	0.00	0%
CO2削減	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	0.00	0.00	0.00	0%
原油換算使用量	0.00	0.00	0.00	0%

### 診断結果【設備の更新によるCO2削減効果】

検討した設備による削減効果の合計

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	0	0	0	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%
事業所全体のCO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%

照明

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

空調 (電気)

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

空調 (GHP)

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力	kWh/年	0	0	0	0%
消費ガス量	m³/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

ボイラー・給油機

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	0	0	0	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

モーター

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

昇圧機

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

## 照明の更新

●仕様書等にある、定格消費電力で算定してください。

- ・仕様書等が手元がない場合は、メーカーHP等から収集してください。
- ・仕様書等が用意できない場合は、次の方法等で確認し、根拠資料（仕様書等の代わり）を用意してください。

- 省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）
- 施工事業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）
- 光源（蛍光灯等）に記載のワット数から算定する（ワット数が読み取れる写真を撮影し、根拠資料として提出する。）

●人感センサー等が導入されている、又は更新により導入する場合

- ・人感センサーの列で「○」を選択してください。点灯率のセルが入力色に変わります。点灯率のセルに点灯率を入力してください。

※点灯率は人感センサー等による自動制御のみ考慮します。人による運用対策（昼休みに職員が消灯して90%等）は含まれません。

●点灯率の根拠資料について

- ・次の方法等で確認し、根拠資料を用意してください。

- 管理システム等で把握している（記録を提出する）
- 省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）
- 施工事業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）
- メーカー等へ問い合わせる（回答された値の確認できるもの（メール等）を提出する。）

項目	更新前										更新後										削減効果	
	メーカー・型番	消費電力(a)	数量(n)	日点灯時間(t)	年間使用日数(d)	人感センサー等	点灯率(r1)	年間点灯時間(b)	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C)	メーカー・型番	消費電力(a')	数量(n')	日点灯時間(t')	年間使用日数(d')	人感センサー等	点灯率(r2)	年間点灯時間(b')	年間消費電力量(E')	CO2排出量(C')	電力削減量(E-E')	CO2削減量(C-C')
単位		W/台	台	時間/日	日/年		%	時間/年	kWh/年	tCO2/年		W/台	台	時間/日	日/年		%	時間/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年
入力例	KKT08328	64.0	60	8	250			2,000	7,680	3.5	LED23630	26.3	60	8	250	○	20	400	631	0.3	7,049	3.2

●日点灯時間及び年間使用日数は、実際に設備を点灯している時間及び日数を記載してください。  
例：8時間/日×250日＝2000時間/年（年間点灯時間等、色なしのセルは自動計算されます。）

●仕様書（例）

品名	LED23630 (LED40形ベースライト)		
特性表			
定格電圧	100V	200V	242V
入力電流	0.266A	0.134A	0.112A
定格消費電力	26.3W	26.3W	26.3W

■対象外設備の考え方

- ・現状の台数では暗いので、台数を増やして明るくしたい→対象外（増設）
- ・ダウンライトから同等以下の電力のLEDスポットライトに更新して、効率よく照らしたい（設備の種類が変わる、消費電力・数量は増加しない）→対象（可）
- ・設備ごと交換ができない箇所をバイパス工事でLEDへ光源交換したい→対象外（光源のみの交換）

●仕様書等にある、定格消費電力で算定してください。

- ・省エネモード、最高・最低能力等はいらないでください。
- ・一般的な定格電圧は100Vですが、工場等で200V等の場合は、該当する電圧の定格能力で算定してください。
- ・数量(n)の増加は原則認められません。（やむを得ない事情がある場合は事務局へご相談ください。）

## 空調（電気）の更新

●負荷率は40%を参考値とします。負荷率を把握していない場合は、そのまま算定してください。

※省エネ診断や施工事業者の測定等により負荷率を把握している場合は、その値を入力してください。（注意メッセージをご確認の上、「はい」を選択して上書きしてください。）  
※把握している値が複数ある場合は、全体平均を求めると、一つの値に整理してください。

項目	負荷率
冷房時(R <sub>1</sub> )	40%
暖房時(R <sub>2</sub> )	40%

●年間冷房（暖房）時間は、実際に設備を稼働している時間を記載してください。（根拠資料の提出は任意です。）  
例：6～9月に冷房→8時間/日×122日＝976時間/年、11～4月に暖房→8時間/日×181日＝1448時間/年

項目	更新前										更新後										削減効果			
	メーカー・型番	導入年度(西暦)	台数(n)	老朽化消費電力倍率(p)	冷房定格能力	冷房時定格消費電力(a <sub>1</sub> )	年間冷房時間(d <sub>1</sub> )	暖房定格能力	暖房時定格消費電力(a <sub>2</sub> )	年間暖房時間(d <sub>2</sub> )	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C <sub>1</sub> )	メーカー・型番	台数(n')	冷房定格能力	冷房時定格消費電力(a' <sub>1</sub> )	年間冷房時間(d' <sub>1</sub> )	暖房定格能力	暖房時定格消費電力(a' <sub>2</sub> )	年間暖房時間(d' <sub>2</sub> )	年間消費電力量(E')	CO2排出量(C <sub>2</sub> )	電力削減量(E-E')	CO2削減量(C-C')
単位			台	%	kW	kW/台	時間/年	kW	kW/台	時間/年	kWh/年	tCO2/年		台	kW/台	時間/年	kW/台	時間/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年
入力例	AAA280BB	2008	2	150%	28.0	7.64	976	31.5	8.59	1,448	23.874	10.9	CCC280DD	2	28.0	8.48	976	31.5	7.70	1,448	15.541	7.1	8.333	3.8

●仕様書等にある、定格消費電力等で算定してください。

- ・仕様書等が手元がない場合は、メーカーHP等から収集してください。
- ・更新前設備の仕様書等が用意できない場合は、次の方法等で確認し、根拠資料（仕様書等の代わり）を用意してください。

- 省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）
- 施工事業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）
- 本体の銘板や仕様表等から読み取る（定格能力・消費電力等が読み取れる写真を撮影し、根拠資料として提出する。）

●定格能力・消費電力を記入して、算定してください。

- ・定格能力の合計(kW)の増加は原則認められません。（やむを得ない事情がある場合は事務局へご相談ください。）

●仕様書（例）

機種名	CCC280DD
電源	三相 200V 50/60Hz
定格冷房能力	28.0
定格冷房消費電力	8.48
定格暖房能力	31.5
定格暖房消費電力	7.70
最大暖房低温能力	23.8
最大暖房低温消費電力	13.7

●最大・中間・最低能力、低温能力など、定格以外の能力では算定しないでください。

## 空調（GHP）の更新

燃料種類	ガス種類
都市ガス (LPG)	LP

- 燃料の種類（都市ガス or 液化石油ガス（LPG））、ガスの詳細な種類（13A or 12A、LP）を選択してください
- 負荷率は40%を参考値とします。負荷率を把握していない場合は、そのまま算定してください。
- ※省エネ診断や施工業者の測定等により負荷率を把握している場合は、その値を入力してください。（注意メッセージをご確認の上、「はい」を選択して書き込んでください。）
- 年間冷房（暖房）時間は、実際に設備を稼働している時間を記載してください。（根拠資料の提出は任意です。）  
例：6～9月に冷房→10時間/日×122日＝1220時間/年、11～4月に暖房→10時間/日×181日＝1810時間/年

負荷率	
冷房時(R <sub>1</sub> )	40%
暖房時(R <sub>2</sub> )	40%

項目	更新前												更新後												削減効果						
	メーカー・型番	導入年度(西暦)	台数(n)	老朽化消費倍率(p)(5%/年)	冷房定格能力	冷房時定格消費電力(a <sub>1</sub> )	冷房時定格消費ガス量(b <sub>1</sub> )	年間冷房時間(d <sub>1</sub> )	暖房定格能力	暖房時定格消費電力(a <sub>2</sub> )	暖房時定格消費ガス量(b <sub>2</sub> )	年間暖房時間(d <sub>2</sub> )	年間電力消費量(E)	年間定格消費ガス量(F)	CO2排出量(C <sub>1</sub> )	メーカー・型番	台数(n')	冷房定格能力	冷房時定格消費電力(a' <sub>1</sub> )	冷房時定格消費ガス量(b' <sub>1</sub> )	年間冷房時間(d' <sub>1</sub> )	暖房定格能力	暖房時定格消費電力(a' <sub>2</sub> )	暖房時定格消費ガス量(b' <sub>2</sub> )	年間暖房時間(d' <sub>2</sub> )	年間電力消費量(E')	年間定格消費ガス量(F')	CO2排出量(C')	電力削減量(E-E')	燃料削減量(F-F')	CO2削減量(C-C')
単位			台	%	kW/台	kW/台	kWh/台	時間/年	kW/台	kW/台	kWh/台	時間/年	kWh/年	m <sup>3</sup> /年	tCO2/年		台	kW/台	kW/台	kWh/台	時間/年	kW/台	kW/台	kWh/台	時間/年	kWh/年	m <sup>3</sup> /年	tCO2/年	kWh/年	m <sup>3</sup> /年	tCO2/年
入力例	EEEE224F	2006	2	150%	22.4	0.82	16.00	1,220	25.0	0.86	16.30	1,810	3,068	4599	11.7	GGG224H	2	22.4	0.38	19.10	1,220	25.0	0.47	18.60	1,810	1,044	3563.1	8.5	2,025	1036	3.3

●老朽化消費倍率は導入年度から自動計算されます。  
※省エネ診断や施工業者の測定等により劣化率等を把握しており、そちらの値を用いた場合は事務局へご相談ください。

●仕様書等にある、定格消費電力等で算定してください。  
・仕様書等が手元にない場合は、メーカーHP等から収集してください。  
・更新前設備の仕様書等が用意できない場合は、次の方法等で確認し、根拠資料（仕様書等の代わり）を用意してください。  
→省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）  
→施工業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）  
→本体の銘板や仕様表等から読み取る（定格能力・消費電力等を読み取る写真を撮影し、根拠資料として提出する。）

●定格能力・消費電力を記入して、算定してください。  
・定格能力の合計(kW)の増加は原則認められません。（やむを得ない事情がある場合は事務局へご相談ください。）

●最大・中間・最低能力、低温能力など、定格以外の能力では算定しないでください。

仕様書(例)	
機種名	GGG224H
電源	三相(単層) 200V 50/60Hz
能力	22.4
定格冷房消費電力	0.378
燃料消費量	19.1
能力	12.3
中間冷房消費電力	0.328
燃料消費量	9.5
能力	25.0
定格暖房消費電力	0.466
燃料消費量	18.6
能力	13.7
中間暖房消費電力	0.221
燃料消費量	7.2
最大暖房消費電力	25.0
低温消費電力	0.496
燃料消費量	27.0

## ボイラー・給湯器の更新

- 仕様書等にある、定格能力等で算定してください。
- ・仕様書等が手元にない、能力で不明点がある場合は、HP等から収集したり、メーカーへ問合せ確認してください。
- ・更新前設備の仕様書等が用意できない場合は、次の方法等で確認し、根拠資料（仕様書等の代わり）を用意してください。
- 省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）
- 施工業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）
- 本体の銘板や仕様表等から読み取る（定格能力・消費電力等を読み取る写真を撮影し、根拠資料として提出する。）

●ボイラー及び給湯器（加熱式）を導入する場合、経年劣化率は10%を参考値とします。経年劣化率を把握していない場合は、そのまま算定してください。  
※省エネ診断や施工業者の測定等により劣化率等を把握しており、そちらの値を用いた場合は事務局へご相談ください。

●稼働時間及び年間使用日数は、実際に設備を点灯している時間及び日数を記載してください。  
例：14時間/日×365日＝5110時間/年（年間稼働時間等、色なしのセルは自動計算されます。）

●最大・冬季能力など、定格（標準）以外の能力では算定しないでください。

●定格（標準）加熱能力・相当蒸発量等を記入して、算定してください。  
・能力の合計の増加は原則認められません。（やむを得ない事情がある場合は事務局へご相談ください。）

仕様書(例)	
機種名	EQ-235YWK (エコキョウト)
ヒートポンプユニット	中間期標準加熱能力/消費電力 7.2kW/1.64kW
	中間期標準運転電流 9.2A
	中間期標準最大加熱能力 -
	冬季高温最大加熱能力 7.2kW/2.50kW

$$7.2 \div 1.64 = 4.39 \dots \rightarrow 439\%$$

項目	更新前															更新後															削減効果				
	メーカー・型番	設備種類	導入年度	数量(n)	燃料種類	燃料単位	HP設備老朽化消費倍率(p)(5%/年)	加熱式設備経年劣化率(q)	定格加熱能力/相当蒸発量	効率	定格燃料消費量(A)	燃料単位	日稼働時間	年間使用日数	年間稼働時間(b)	必要熱量	年間燃料消費量(F)	CO2排出量(C)	光熱費	原油換算使用量	メーカー・型番	数量(n')	燃料種類	定格加熱能力/相当蒸発量	効率	燃料消費量(A')	燃料単位	日稼働時間	年間使用日数	年間稼働時間(b')	年間燃料消費量(F')	CO2排出量(C')	光熱費	原油換算使用量	CO2削減量(C-C')
単位				台			%	%	%	/(台・h)		時間/日	日/年	時間/年	MJ	/年	tCO2/年	円	kl/年		台			%	/(台・h)		時間/日	日/年	時間/年	/年	tCO2/年	円	kl/年	tCO2/年	円
入力例	FR-085LMK	給湯器 (HP)	2008	2	電気	kWh	150%	-	7.2 kW	439%	1.64 kWh	14	365	5,110	71,784	25601.1	11.7	-	7	EQ-235YWK	2	電気	7.2 kW	439%	1.6 kWh		14	365	5,110	16,761	7.7	-	4	3.8	-

●給湯器（HP）を導入する場合  
・設備種類にて「給湯器（HP）」をプルダウンから選択すると、導入年度の行が入力色になります。  
・導入年度を入力すると、ヒートポンプの劣化率が自動計算されます。  
※省エネ診断や施工業者の測定等により劣化率等を把握しており、そちらの値を用いた場合は事務局へご相談ください。  
※給湯器（HP）以外の場合は、導入年度は記入不要です。

●ボイラー・給湯器の効率について  
・蒸気・温水の発生効率を指し、仕様書等に記載されている能力です。  
※給湯器（HP）の場合「加熱能力÷消費電力」のため、効率が100%を超える場合があります。

## コンプレッサの更新

●仕様書等にある、定格出力等で算定してください。

- 仕様書等が手元にない、能力で不明点がある場合は、HP等から収集したり、メーカーへ問合せを確認してください。
- 更新前設備の仕様書等が用意できない場合は、次の方法等で確認し、根拠資料（仕様書等の代わり）を用意してください。

→省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）  
 →施工事業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）  
 →本体の銘板や仕様表等から読み取る（定格能力・消費電力等が読み取れる写真を撮影し、根拠資料として提出する。）

●負荷率の根拠資料について

- 次の方法等で確認し、根拠資料を用意してください。

→管理システム等で把握している（記録を提出する）  
 →省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）  
 →施工事業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）  
 →メーカー等へ問い合わせる（回答された値の確認できるもの（メール等）を提出する。）

●インバーターが導入されている、又は更新により導入する場合

- インバーターの列で「○」を選択してください。（インバーターの負荷率制御を考慮した算定へ自動計算されます。）

●年間稼働時間は、実際に設備を稼働している時間を記載してください。  
 例：10時間/日×250日＝2500時間/年

項目	更新前												更新後												削減効果			
	メーカー・型番	モータ数(n)	規格	効率タイプ	定格出力(a)	極数	効率(p)	消費電力(b=a/p)	負荷率(r)	インバーター	年間稼働時間(t)	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C)	メーカー・型番	モータ数(n')	規格	効率タイプ	定格出力(a')	極数	効率(p')	消費電力(b'=a'/p')	負荷率(r')	インバーター	年間稼働時間(t')	年間消費電力量(E')	CO2排出量(C')	電力削減量(ΔE=E-E')	CO2削減量(ΔC=C-C')
単位					kW		%	kW/台		h/年	kWh/年	tCO2/年								kW/台		%	h/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年	
入力例	OLF-754FE	2	IE2	高効率	7.5	4極	88.7%	8.5	80%		2560	34,634	15.8	PLM-75DBC	2	IE3	プレミアム効率	7.5	4極	90.4%	8.3	80%	○	2560	27,186	12.4	7,448	3.4

※先に規格をプルダウンから選ぶことで、定格出力が選択可能になります。

●更新後の規格・出力等を記入して、算定してください。

- 能力の増加は原則認められません。（やむを得ない事情がある場合は事務局へご相談ください。）

## 変圧器の更新

●仕様書等にある、能力等で算定してください。

- 動力・電灯など種別は分けて記載してください。（把握しやすい様に。）

- 仕様書等が手元にない、能力で不明点がある場合は、HP等から収集したり、メーカーへ問合せを確認してください。
- 更新前設備の仕様書等が用意できない場合は、次の方法等で確認し、根拠資料（仕様書等の代わり）を用意してください。

→省エネ診断を受診する（診断結果報告書を提出する。）  
 →施工事業者へ測定等を依頼する（測定結果を提出する。）  
 →本体の銘板や仕様表等から読み取る（能力等が読み取れる写真を撮影し、根拠資料として提出する。）

●年間稼働時間は、実際に設備を稼働している時間を記載してください。  
 例：24時間/日×365日＝8760時間/年

●更新後の能力等を記入して、算定してください。

- 能力の増加は原則認められません。（やむを得ない事情がある場合は事務局へご相談ください。）

項目	更新前							更新後							削減効果						
	メーカー・型番	容量	相数、変圧比	無負荷損(a)	負荷損(b)	負荷率(r)	年間稼働時間(t)	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C)	メーカー・型番	容量	相数、変圧比	無負荷損(a)	負荷損(b)	負荷率(r)	年間稼働時間(t)	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C)	電力削減量(E-E')	CO2削減量(C-C')	負荷率検査
単位		kVA		W	W	%	時間/年	kWh/年	tCO2/年		kVA		W	W	%	時間/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年	
入力例	KK-1L	100	3相：6.6kV→210V	300	1500	40%	8760	4730	2.2	ME-1R	100	3相：6.6kV→210V	100	1000	40%	8760	2278	1.0	2453	1.1	FALSE

●負荷率は、容量500kVA以下は40%、500kVA超は50%を基準値とします。

※省エネ診断や施工事業者の測定等により負荷率を把握しており、そちらの値を用いたい場合は事務局へご相談ください。



4 ピーク電力等把握

←選択してください

契約電力		kW	(請求書参照)
力率		%	(請求書参照)
月基本料金単価		円/kW	(請求書参照)
年間基本料金	0	円/年	
年間料金	0	円/年	

5 再生可能エネルギーの活用

←選択してください

再エネ発電 出力計		kW	(自家消費分)
年間発電量		kWh/年	(自家消費分)

5 買電の低炭素化

←選択してください

調整後排出係数		tCO2/kWh	
---------	--	----------	--

# 照明の更新

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	-	-	-	0%
原油換算エネルギー使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

特記事項	

数量の増減	
-	

※数量 (n) の増加は原則認められません。

※記入例シートをご覧の上、設備更新による削減量を算定してください。

●凡例

年間点灯時間(b=t×d×r1)	年間点灯時間(b'=t'×d'×r2)
年間消費電力量(E=a×n×b/1000)	年間消費電力量(E'=a'×n'×b'/1000)
CO2排出量(C=E×0.000456)	CO2排出量(C'=E'×0.000456)

機種別内訳

項目	更新前										更新後										削減効果	
	メーカー・型番	消費電力 (a)	数量(n)	日点灯時間 (t)	年間使用日数(d)	人感センサー等	点灯率 (r1)	年間点灯時間(b)	年間消費電力量(E)	CO2排出量 (C)	メーカー・型番	消費電力 (a')	数量(n')	日点灯時間	年間使用日数	人感センサー等	点灯率 (r2)	年間点灯時間(b')	年間消費電力量(E')	CO2排出量 (C')	電力削減量 (E-E')	CO2削減量 (C-C')
単位	W/台	台	時間/日	日/年		%	時間/年	kWh/年	tCO2/年		W/台	台	時間/日	日/年		%	時間/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年	
入力例	KKT08328	64.0	60	8	250		2,000	7,680	3.50	LED23630	26.3	60	8	250	○	20	400	631	0.29	7,049	3.21	
合計			0					0	0.00			0						0	0.00	0	0.00	
機種1							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種2							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種3							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種4							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種5							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種6							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種7							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種8							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種9							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種10							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種11							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種12							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種13							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種14							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種15							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種16							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種17							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種18							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種19							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種20							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種21							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種22							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種23							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種24							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種25							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種26							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種27							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種28							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種29							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	
機種30							0	0	0.00				0	0			0	0	0.00	0	0.00	



空調（電気）の更新

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
電力消費量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	-	-	-	0%
原油換算エネルギー使用	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

特記事項	

定格能力の増減		
項目	冷房	暖房
定格能力合計 (kW)		
※定格能力の増加は原則認められません		

項目	負荷率
冷房時(R <sub>1</sub> )	40%
暖房時(R <sub>2</sub> )	40%

※記入例シートをご覧の上、設備更新による削減量を算定してください。

●凡例

入力セル	選択セル	入力不可
------	------	------

年間電力消費量(E=a1pnd1R1+a2pnd2R2)	年間電力消費量(E'=a'1p'n'd'1R1+a'2p'n'd'2R2)
CO2排出量(C1=E1×0.000456)	CO2排出量(C'2=E'2×0.000456)

機種別内訳

項目	更新前																更新後																削減効果	
	メーカー・型番	導入年度(西暦)	台数(n)	老朽化消費電力倍率(p)(5%/年)	冷房定格能力	冷房時定格消費電力(a <sub>1</sub> )	日冷房時間	年間冷房日数	年間冷房時間(d <sub>1</sub> )	暖房定格能力	暖房時定格消費電力(a <sub>2</sub> )	日暖房時間	年間暖房日数	年間暖房時間(d <sub>2</sub> )	年間電力消費量(E)	CO2排出量(C <sub>1</sub> )	メーカー・型番	台数(n)	冷房定格能力	冷房時定格消費電力(a' <sub>1</sub> )	日冷房時間	年間冷房日数	年間冷房時間(d' <sub>1</sub> )	暖房定格能力	暖房時定格消費電力(a' <sub>2</sub> )	日暖房時間	年間暖房日数	年間暖房時間(d' <sub>2</sub> )	年間電力消費量(E')	CO2排出量(C' <sub>2</sub> )	電力削減量(E-E')	CO2削減量(C-C')		
単位	年	台		kW/台	kW/台	時間/日	日/年	時間/年	kW/台	kW/台	時間/日	日/年	時間/年	kWh/年	tCO2/年	台	台	kW/台	kW/台	時間/年	時間/年	kW/台	kW/台	時間/年	kW/台	kW/台	時間/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年			
入力例	AAA280BB	2008	2	150%	28.0	7.64	8	122	976	31.5	8.59	8.00	181.00	1,448	23,874	10.89	CCC280DD	2	28.0	8.48	976	31.5	7.70	1,448	15,541	7.09	8,333	3.80						
合計			0		0.0	0.00			0	0.0	0.00			0	0.00			0	0.0	0.00			0	0.0	0.00		0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種1				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種2				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種3				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種4				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種5				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種6				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種7				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種8				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種9				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種10				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種11				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種12				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種13				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種14				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種15				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種16				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種17				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種18				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種19				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種20				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種21				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種22				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種23				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種24				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種25				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種26				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種27				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種28				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種29				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		
機種30				100%					0					0	0.00												0	0.00	0	0.00	0	0.00		







# モーター更新（コンプレッサー等）

モーター更新によるCO2削減量、光熱費削減量

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
電力消費量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	-	-	-	0%
原油換算エネルギー	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

特記事項
------

定格出力の増減
---------

※定格出力の増加は原則認められません

※記入例シートをご覧の上、設備更新による削減量を算定してください。

●凡例

年間消費電力量(E=b×n×r×t)	年間消費電力量(E'=b'×n'×r'×t')
CO2排出量(C=E×0.000456)	CO2排出量(C'=E'×0.000456)

機種別内訳

項目	更新前												更新後												削減効果			
	メーカー・型番	モータ数(n)	規格	効率タイプ	定格出力(a)	極数	効率(p)	消費電力(b=a/p)	負荷率(r)	インバーター	年間稼働時間(t)	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C)	メーカー・型番	モータ数(n')	規格	効率タイプ	定格出力(a')	極数	効率(p')	消費電力(b'=a'/p')	負荷率(r')	インバーター	年間稼働時間(t')	年間消費電力量(E')	CO2排出量(C')	電力削減量(ΔE=E-E')	CO2削減量(ΔC=C-C')
単位		台			kW		%	kW/台			h/年	kWh/年	tCO2/年		台						kW/台			h/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年
入力例	OLF-754FE	2	IE2	高効率	7.5	4極	88.7%	8.5	80%		2560	34,634	15.79	PLM-75DBC	2	IE3	プレミアム効率	7.5	4極	90.4%	8.3	80%	○	2560	27,186	12.40	7,448	3.40
合計		0			0							0	0.00		0										0	0.00	0	0.00
機種1												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種2												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種3												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種4												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種5												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種6												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種7												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種8												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種9												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種10												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種11												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種12												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種13												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種14												0	0.00												0	0.00	0	0.00
機種15												0	0.00												0	0.00	0	0.00

# 変圧器の更新

変圧器更新によるCO2削減量、光熱費削減量

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	-	-	-	0%
原油換算エネルギー使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

特記事項

容量の増減
※容量が更新前後で異なる場合は、その理由を特記事項欄に記載してください。(要根拠資料)

※記入例シートをご覧の上、設備更新による削減量を算定してください。

●凡例

年間消費電力量(E=(a+b×r2)×t/1000)	年間消費電力量(E'=(a'+b'×r2)×n'×t'/1000)
CO2排出量(C=E×0.000456)	CO2排出量(C'=E'×0.000456)

機種別内訳

項目	更新前									更新後									削減効果	
	メーカー・型番	容量	相数、変圧比	無負荷損(a)	負荷損(b)	負荷率(r)	年間稼働時間(t)	年間消費電力量(E)	CO2排出量(C)	メーカー・型番	容量	相数、変圧比	無負荷損(a)	負荷損(b)	負荷率(r)	年間稼働時間(t)	年間消費電力量(E')	CO2排出量(C')	電力削減量(E-E')	CO2削減量(C-C')
単位		kVA		W	W	%	時間/年	kWh/年	tCO2/年		kVA		W	W	%	時間/年	kWh/年	tCO2/年	kWh/年	tCO2/年
入力例	KK-1L	500	3相：66kV→210V	379	1,901	40%	8,760	5,984	2.73	ME-1R	100	3相：66kV→210V	150	1,380	40%	8,760	3,248	1.48	2736	1.25
合計		0		0	0			0	0.00		0		0	0			0	0.00	0	0.00
機種1						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種2						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種3						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種4						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種5						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種6						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種7						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種8						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種9						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種10						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種11						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種12						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種13						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種14						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00
機種15						40%		0	0.00								0	0.00	0	0.00

CO2スマート宣言事業所登録申請と同じ項目です。

(作成済みシートと選択欄をコピーペーストできます)

**取組項目**

(取り組んでいる項目について選択欄に○を記載してください)

分類	必須項目	番号	取組項目	投資項目	選択欄
1 地球温暖化対策の先進的な取組		1	2050年カーボンニュートラルを宣言している。		
		2	2030年度の温室効果ガス削減目標値を設定・公表している。		
		3	RE100（使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うこと）を目指すことを公表している。		
		4	自主的に事業所全体で取り組む地球温暖化対策の方針・計画を策定し、共有している。		
		5	事業所の温室効果ガス排出量を算定し、その結果をホームページなどで公表している。		
		6	事業によるサプライチェーン全体の排出量を算定し、その結果をホームページなどで公表している。		
		7	製品・サービスのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量の見える化を行っている。		
		8	再生可能エネルギー由来の電気を購入している。		
		9	事業所におけるエネルギー消費量のうち、50%以上の省エネルギー化を目指している。		
		10	国や千葉県が公表している環境に関する情報を積極的に入手し、事業所での地球温暖化対策に活用している。		
2 省エネルギー全般		11	専門機関による省エネルギー診断等を受診している。		
		12	エネルギー使用量を管理し、見える化・分析を行っている。		
		13	エネルギー・マネジメント・システム（EMS）を設置している。	投資	
		14	事業所の建物が、BELS、省エネ基準適合認定マーク（eマーク）、CASBEE等、環境性能に関する第三者認証制度での認定・認証等を受けている。	投資	
		15	太陽光発電設備・太陽熱利用設備・地中熱利用設備などの再生可能エネルギー利用設備を設置している。	投資	
		16	コージェネレーション設備を設置している。	投資	
	<b>必須</b>	17	<b>照明器具や空調機器の定期的な清掃を実施している。</b>		
		18	給湯設備や空調設備の配管を断熱化している。	投資	

分類	必須項目	番号	取組項目	投資項目	選択欄	
2 省エネルギー全般		19	ボイラーの燃焼空気量を適正に管理している。			
		20	節水機器の設置により上下水道使用量を削減している。	投資		
		21	「エコマーク」や「再生紙使用マーク」等の環境ラベルの表示がある事務用品等を優先的に購入している。	投資		
		22	「国際エネルギースターマーク」や「省エネラベル」等を参考に省エネルギー性能の優れたOA機器等を購入している。	投資		
		<b>プレミアム必須</b>	<b>23</b>	<b>省エネの責任者及び担当者を決め、組織として省エネの実施体制を整備している。</b>		
			24	ノー残業デーの設定・残業時間の制限など、ワークスタイルの見直しに取り組んでいる。		
			25	テナントとの省エネ推進体制を構築している。（定例会議の開催・報告会の実施、テナントの省エネ担当者を登録 など）		
			26	テナント向けの省エネマニュアルを作成している。		
			27	テナントにエネルギー消費量・デマンド値を通知している。		
			28	テナントオーナーとの省エネ推進体制に参加している。（定例会議への参加、テナントの省エネ担当者を登録 など）		
3 削減エネルギー（照明・電力）消費量の	<b>必須</b>	<b>29</b>	<b>業務に支障のない範囲で照明の間引きや部分的な消灯を実施している。</b>			
		30	業務に支障のない範囲で照明の消灯時間帯を設定している。			
	<b>プレミアム必須</b>	31	事業所内の半数以上の照明にLED照明等の高効率照明を使用している。	投資		
		32	事業所内のトイレ、給湯室、階段等、常時使用しない箇所の照明に人感センサーを導入している。	投資		
		33	事務用機器等の省エネモード等を利用している。			

分類	必須項目	番号	取組項目	投資項目	選択欄
4 エネルギー消費量の削減 (空調)	必須	34	室温の適正管理（夏28℃、冬20℃を目安）に取り組んでいる。		
		35	クールビズやウォームビズを実施している。		
		36	空調負荷の低減のためブラインド等を適切に活用している。		
		37	空調の吹出口・吸込口やエアコン室外機の通風を確保している。		
		38	高効率空調設備を導入している。	投資	
		39	屋根面・壁面等の断熱化や遮熱化を図っている。	投資	
5 自動車の燃料消費量の削減		40	二重窓・複層ガラス・遮熱フィルム等による窓の断熱化や遮熱化を図っている。	投資	
		41	プラグインハイブリッド自動車・電気自動車等の次世代自動車を導入している。	投資	
		42	運転を担当する従業員にエコドライブの実施を促している。		
		43	運転を担当する従業員又は従業員グループ別の燃費を把握している。		
		44	配送・配車計画の策定等により、効率的な輸送経路による運行を行っている。		
		45	共同集荷・集配などによる積載率の向上を図るため、事業者間の連携に取り組んでいる。		
6 削減廃棄物の		46	従業員のエコ通勤を推奨している。（公共交通機関・自転車の利用等）		
		47	3R（リデュース・リユース・リサイクル）に取り組んでいる。		
7 保森林の		48	両面コピー、使用済みの裏紙使用、資料の電子化等により紙の使用量の削減を実施している。		
		49	森林の整備や保全活動に参加・協力している。		
8 推緑進の		50	敷地や建物（屋上・壁面等）の植栽や緑化をしている。		

登録基準を満たしていません

合計	
----	--

※スタンダード登録基準：必須項目3項目含む13項目以上を選択すること。

※プレミアム登録基準：必須項目3項目+プレミアムコース必須項目2項目を含む18項目以上を選択すること。



## 診断結果【設備の更新によるCO2削減効果】

検討した設備による削減効果の合計

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	0	0	0	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%
事業所全体のCO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%

照明

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

空調（電気）

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

空調（GHP）

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
消費ガス量	m <sup>3</sup> /年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

ボイラー・給湯器

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	0	0	0	0
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

モーター

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

変圧器

項目	単位	更新前	更新後	削減量	削減率
年間消費電力量	kWh/年	0	0	0	0%
CO2排出量	tCO2/年	0.00	0.00	0.00	0%
光熱費	円/年	—	—	—	0%
原油換算使用量	kl/年	0.00	0.00	0.00	0%

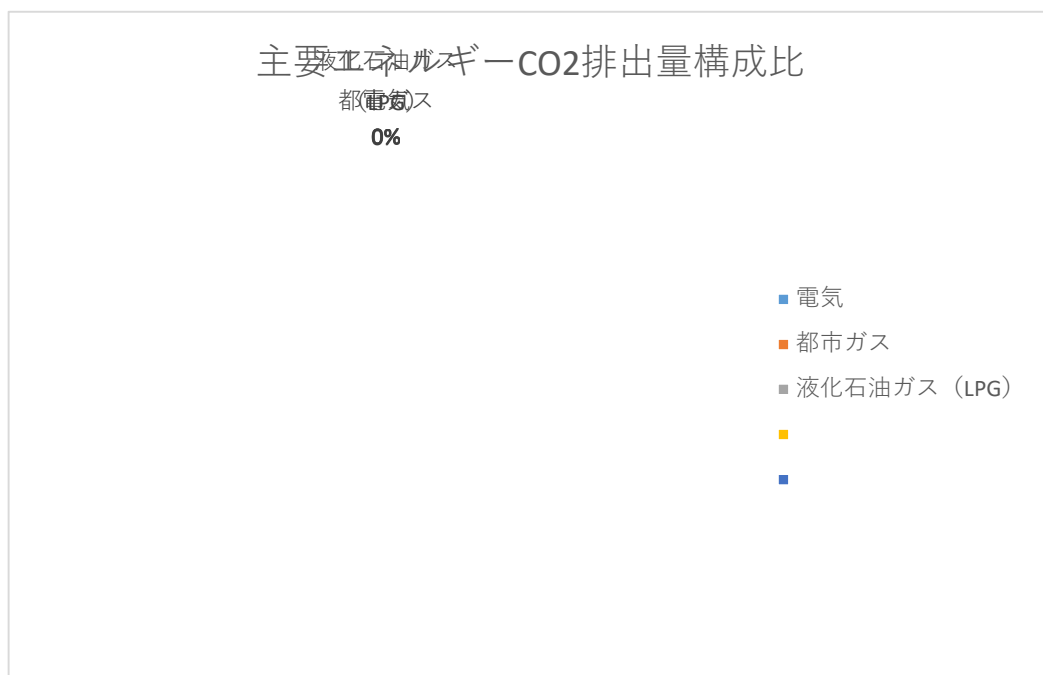
## 診断結果【エネルギー使用の状況】

主要エネルギーの月別使用量把握	0	★	0
主要設備または主要工程のエネルギー使用量の把握	0	★	0
ピーク電力等把握	0	★	0
力率の改善	0%	★	0
再生可能エネルギーの活用	0	★	0
買電の低炭素化	0	★	0
合計			


### 1 主要エネルギー種類別の年間使用量と光熱費

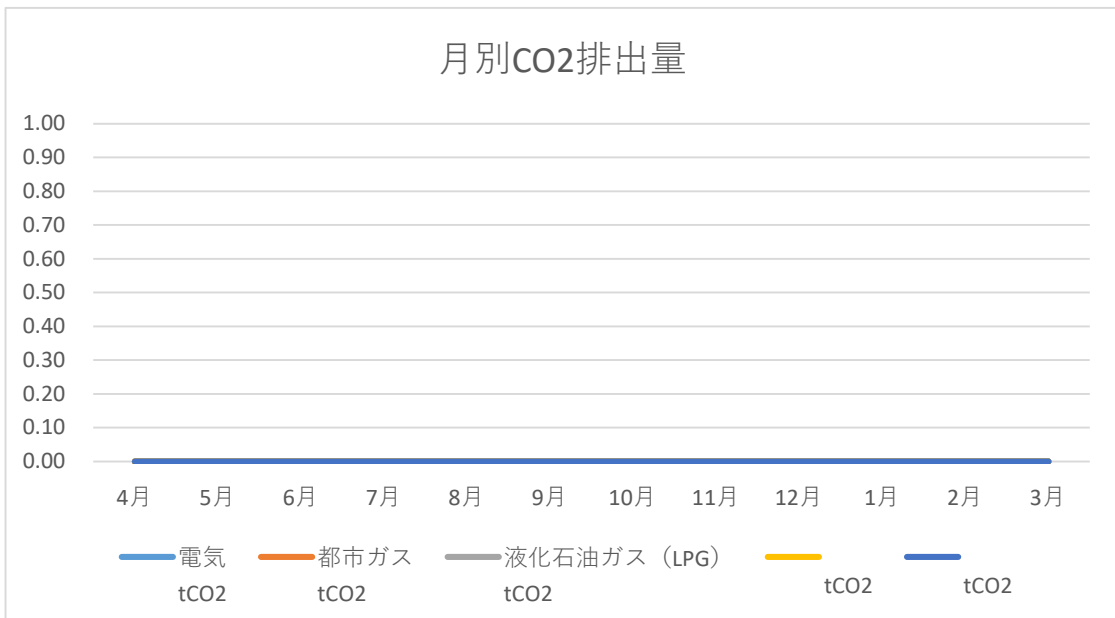
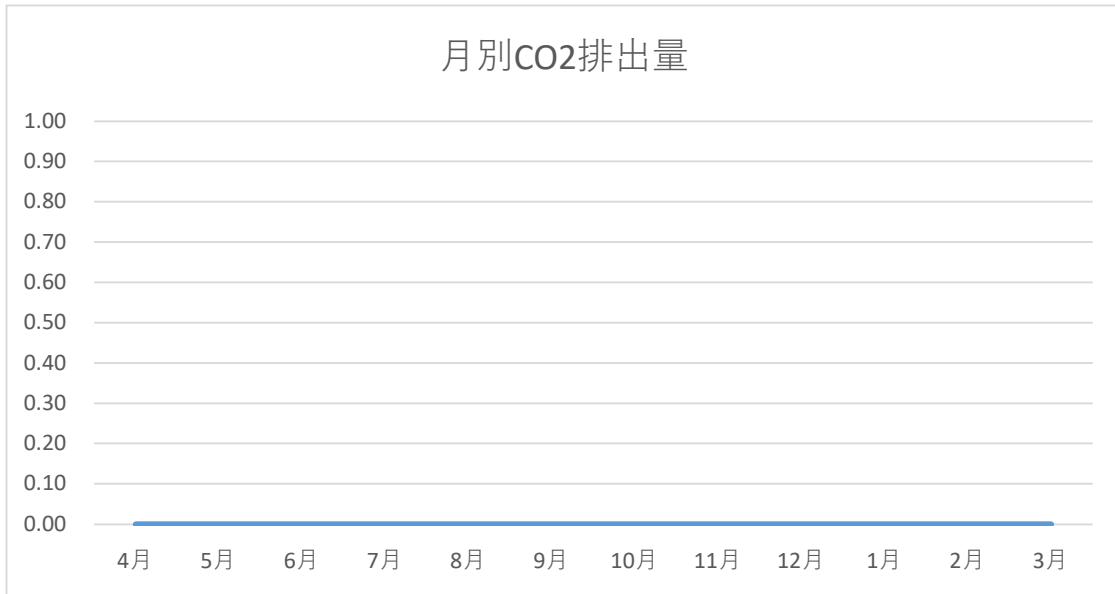
エネルギー種類別CO2排出量

エネルギー種類	年間使用量	CO2排出量	構成比
電気	0 kWh	0.00 tCO2/年	#DIV/0!
都市ガス	0 m <sup>3</sup>	0.00 tCO2/年	#DIV/0!
液化石油ガス (LPG)	0 kg	0.00 tCO2/年	#DIV/0!
	0	0.00 tCO2/年	#DIV/0!
	0	0.00 tCO2/年	#DIV/0!
合計		0.00 tCO2/年	#DIV/0!




## 2 主要エネルギーの月別使用量把握

回答	アドバイス
0	省エネのためには、エネルギー消費の要因を把握することが重要です。月別のエネルギー使用量を把握し、季節による影響（空調への負荷）、事業の季節変動の影響と合わせて比較します。複数のエネルギーを使用している場合は、CO2排出量または原油換算エネルギー使用量に単位をそろえることが有効です。
	





### 3 主要設備または主要工程のエネルギー使用量の把握

回答	アドバイス
0	改善すべき設備の把握と改善効果の把握のためには、主要設備または主要
	工程の別にエネルギー使用量を把握することが有効です。複数のエネルギーを使用している場合は、CO2排出量または原油換算エネルギー使用量に単位をそろえることが有効です。

主要設備または主要工程別のエネルギー割合

その他%  
0%


#### 4 ピーク電力等把握

回答	アドバイス
0	<p>契約電力（年間のピーク電力）は、30分毎の電気使用量の年間最大値により決まり、契約電力に比例して基本料金が決まります。年間のピーク電力がいつ発生しているかを把握し、対策することで、年間の電気料金を減らすことができます。また、需要逼迫時の負荷を減らすことに貢献できます。</p>
	
力率	<p>力率が低いと発電された電力のうち有効に使える量が少なくなります。そのため、力率が85%を上回る場合は、上回る1%につき基本料金を1%割引されます。一方、85%を下回る場合は、下回る1%につき基本料金を1%割増されます。進相コンデンサーの設置により力率を改善できます。</p>
%	
	


削減量	力率を100%に改善した場合	ピーク電力を5%削減した場合	力率を100%に改善、ピーク電力を5%削減した場合
光熱費(円/年)	0	0	0

契約電力	0	kW
力率	0	%
月基本料金単価	0	円/kW
年間基本料金	0	円/年


#### 5 再生可能エネルギーの活用

回答	アドバイス
0	<p>二酸化炭素排出量の削減のためには、再生可能エネルギーの利用量を増やしていく必要があります。実施可能な範囲で、導入を進めてください。</p>
	
CO2削減量	0 (t-CO2/年)

#### 5 買電の低炭素化

回答	アドバイス
0	<p>二酸化炭素排出量の削減のためには、省エネが有効ですが、2050年に実質ゼロを目指していくには、省エネだけでゼロにすることは不可能ですので、再生可能エネルギーの利用割合が高い電気を買電することも重要です。実施可能な範囲で、導入を進めてください。</p>
	
CO2削減量	0 (t-CO2/年)

## 診断結果【省エネ・二酸化炭素削減取組状況とアドバイス】

実施済み（○選択）	0
未実施	50
合計	50
実施率	0% 
登録基準対応	登録基準を満たしていません
※スタンダード登録基準：全50項目中、必須項目3項目(No.17,29,34)含む13項目以上を選択すること。 ※プレミアム登録基準：全50項目中、必須項目3項目(No.17,29,34)+プレミアムコース必須項目2項目(No.23,31)を含む18項目以上を選択すること。	
選択数0, 必須項目No.17=, No.29=, No.34=: プレミアNo.23=, No.31=	

※登録期間内に取組を予定している場合には1項目として取組項目数に加えることが可能（○取組済み、●取組予定）

分類	必須項	番号	取組項目	実施状況	省エネアドバイス
		1	2050年カーボンニュートラルを宣言している。		2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。カーボンニュートラルに向けた取組は、中小規模事業者にも及び、バリューチェーン内の中小規模事業者に対するCO2排出量の開示や削減を促す動きがあります。メリットとして、①「脱炭素経営が進んでいる企業」という良いイメージを獲得、②光熱費・燃料費の低減、③知名度・認知度向上、④社員のモチベーション・人材獲得力向、⑤好条件での資金調達があります。 (参考： <a href="https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf">https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf</a> )
		2	2030年度の温室効果ガス削減目標値を設定・公表している。		中間目標として、政府は「2030年に2013年度比で46%の削減」としています。「基準年に対して4.2%/年の削減」等の指標、属する業界団体が設定する目標等を参考にすることも一案です。 (参考： <a href="https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf">https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf</a> )
		3	RE100（使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うこと）を目指すことを公表している。		二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すには、省エネだけでゼロにすることは不可能ですので、再生可能エネルギーによる電気を使うことが重要になります。 自家発電、再エネ電力メニューの購入、再エネ電力証書の購入といった方法があります。 (参考： <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/RE100_syousai_20230110.pdf">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/RE100_syousai_20230110.pdf</a> )



分類	必須項	番号	取組項目	実施状況	省エネアドバイス
1 地球温暖化対策の先進的な取組		4	自主的に事業所全体で取り組む地球温暖化対策の方針・計画を策定し、共有している。		<p>自社の脱炭素経営の方針を検討しましょう。検討した方針を踏まえ、自社が出来ることは何かを考えます。計画の策定においては、自社のCO2排出源を分析し、削減対策を洗い出してみましょう。洗い出した削減対策から実施可能な削減対策をリストアップし、実施計画を策定します。実施計画は、実施が容易な対策から徐々に拡大していくように策定することが重要です。</p> <p>(参考： <a href="https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf">https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf</a>)</p>
		5	事業所の温室効果ガス排出量を算定し、その結果をホームページなどで公表している。		<p>脱炭素経営の方針に則り、具体的な施策へと落とししていくためには、まずは自社のCO2排出量の把握が必要です。主要な排出源を特定するところから始め、取組を進めながら、設備単位でも算定する等、徐々に精緻化していくとよいでしょう。</p> <p>(参考： <a href="https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf">https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf</a>)</p>
		6	事業によるサプライチェーン全体の排出量を算定し、その結果をホームページなどで公表している。		<p>サプライチェーンとは、原料調達・製造・物流・販売・廃棄等、一連の流れ全体をいい、そこから発生する排出量を本書ではサプライチェーン排出量と呼んでいます。</p> <p>(参考： <a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/supply_chain_201711_all.pdf">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/supply_chain_201711_all.pdf</a>)</p>
		7	製品・サービスのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量の見える化を行っている。		<p>生産だけで評価すると製品Bの方がAよりCO2排出が少ないのですが、ライフサイクルでは逆になっています。(参考： <a href="https://www-cycle.nies.go.jp/magazine/mame/20070702.htm">https://www-cycle.nies.go.jp/magazine/mame/20070702.htm</a>)</p> <p>(左:生産工程での排出、右:ライフサイクルでの排出)</p>

分類	必須項	番号	取組項目	実施状況	省エネアドバイス
		8	再生可能エネルギー由来の電気を購入している。		二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すには、省エネだけでゼロにすることは不可能ですので、再生可能エネルギーによる電気を使うことが重要になります。 自家発電、再エネ電力メニューの購入、再エネ電力証書の購入といった方法があります。 (参考：https://www.env.go.jp/content/900405036.pdf)
		9	事業所におけるエネルギー消費量のうち、50%以上の省エネルギー化を目指している。		2050年カーボンニュートラルに向けては、省エネ（化石エネルギーの使用の合理化）の徹底と、技術開発等による非化石エネルギーの導入拡大の両輪で取組を進める必要があります。 (参考：https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sho_energy/data/r3_shoene_seminar02.pdf)
		10	国や千葉県が公表している環境に関する情報を積極的に入手し、事業所での地球温暖化対策に活用している。		自社の産業を取り巻くカーボンニュートラルに向けた動きを捉えましょう。自社に影響する動きを知ることで、理解が深まり、自分事で捉えることができます。 (参考：https://www.env.go.jp/content/000114653.pdf)
2 省 エ ネ ル ギ ー 全 般		11	専門機関による省エネルギー診断等を受診している。		省エネルギー診断とは、専門家（エネルギー管理士など）が直接事業所にお伺いして、電気やガス等の使用状況を診断し、省エネに関する提案や技術的な助言を行うものです。
		12	エネルギー使用量を管理し、見える化・分析を行っている。		省エネのためには、エネルギー消費の要因を把握することが重要です。季節による影響把握、主要設備または主要工程の別の把握も有効です。
		13	エネルギー・マネジメント・システム（EMS）を設置している。		電気、ガス、熱などのエネルギーの見える化や設備の運用を最適化するためのシステムです。 運転時間の自動設定を行うことができます。また、電力の使用状況を常時監視するデマンド監視装置を導入し、年間のピーク電力がいつ発生しているかを把握し、対策することで、年間の電気基本料金を減らすことができます。
		14	事業所の建物が、BELS、省エネ基準適合認定マーク（eマーク）、CASBEE等、環境性能に関する第三者認証制度での認定・認証等を受けている。		建物を貸し出す場合に、第三者認証を受けた環境性能を示すことで、借主への訴求効果があります。また、借主についても、省エネを推進するためには、第三者認証を受けた環境性能の高い建物を選択することで、断熱性が高く空調の効果が高まる等のメリットがあります。
		15	太陽光発電設備・太陽熱利用設備・地中熱利用設備などの再生可能エネルギー利用設備を設置している。		再生可能エネルギー利用設備を設置し、外部からの電気や燃料の調達量を減らすことができ、二酸化炭素の排出削減、光熱費の削減を図ります。
		16	コージェネレーション設備を設置している。		発電する電気と発電に伴い発生する熱の両方に需要が見合う場合にコージェネレーション設備が有効です。

分類	必須項	番号	取組項目	実施状況	省エネアドバイス	
	<b>必須</b>	17	照明器具や空調機器の定期的な清掃を実施している。		フィルタ清掃で5～10%の削減が期待できます。	
		18	給湯設備や空調設備の配管を断熱化している。		保温材が敷設されていない蒸気配管や蒸気バルブは、バルブの表面温度が高いため、放熱量も大きいです。断熱を強化することにより、放熱損失を防ぐことができます。	
2 省エネルギー全般		19	ボイラーの燃焼空気量を適正に管理している。		ボイラや冷水発生機等の燃焼設備は、空気比（実空気量／理論空気量）が大きい場合、燃焼温度や機器効率の低下につながるため、空気比を調整（最適化）することが有効です。 また、管理標準を定めて管理することも有効です。	
		20	節水機器の設置により上下水道使用量を削減している。		節水コマ、自動水栓、自動洗浄装置、トイレ擬音装置など	
		21	「エコマーク」や「再生紙使用マーク」等の環境ラベルの表示がある事務用品等を優先的に購入している。			
		22	「国際エネルギースターマーク」や「省エネラベル」等を参考に省エネルギー性能の優れたOA機器等を購入している。			
		<b>プレミアム必須</b>	23	省エネの責任者及び担当者を決め、組織として省エネの実施体制を整備している。		温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制を整備することが重要です。取締役会等の業務執行を決定する機関との連携、必要な資金・人材確保、従業員に取組方針の周知・教育、実施状況の確認を行うことが有効です。
			24	ノー残業デーの設定・残業時間の制限など、ワークスタイルの見直しに取り組んでいる。		
			25	テナントとの省エネ推進体制を構築している。（定例会議の開催・報告会の実施、テナントの省エネ担当者を登録など）		
			26	テナント向けの省エネマニュアルを作成している。		
		27	テナントにエネルギー消費量・デマンド値を通知している。			

分類	必須項	番号	取組項目	実施状況	省エネアドバイス
		28	テナントオーナーとの省エネ推進体制に参加している。(定例会議への参加、テナントの省エネ担当者を登録など)		
3 削減 (照明・電力) エネルギー消費量の	必須	29	業務に支障のない範囲で照明の間引きや部分的な消灯を実施している。		大空間事務室の照明では、不必要範囲の照明も点灯されるため、使用頻度の少ない部分がある場合には、必要な場所のみを点灯します。
		30	業務に支障のない範囲で照明の消灯時間帯を設定している。		不使用室、昼休み、就業後などの在席率の低い時間帯のこまめな消灯や不使用室の消灯スケジュールタイマー機能、機械警連動の消灯機能がある場合にはその活用
	プレミアム必須	31	事業所内の半数以上の照明にLED照明等の高効率照明を使用している。		
		32	事業所内のトイレ、給湯室、階段等、常時使用しない箇所の照明に人感センサーを導入している。		常時点灯する必要がない場所では、人感センサー方式を導入し、照明器具の「ON・OFF」又は、「100%点灯から25%(30%)」への点灯を自動制御します。
		33	事務用機器等の省エネモード等を利用している。		
	4 エネルギー消費量の削減 (空調)	必須	34	室温の適正管理(夏28℃、冬20℃を目安)に取り組んでいる。	
		35	クールビズやウォームビズを実施している。		快適さを損なわずに空調の設定温度を緩和するのに役立ちます。
		36	空調負荷の低減のためブラインド等を適切に活用している。		
		37	空調の吹出口・吸込口やエアコン室外機の通風を確保している。		
		38	高効率空調設備を導入している。		
		39	屋根面・壁面等の断熱化や遮熱化を図っている。		
		40	二重窓・複層ガラス・遮熱フィルム等による窓の断熱化や遮熱化を図っている。		

分類	必須項	番号	取組項目	実施状況	省エネアドバイス
5 自動車 の燃料 消費量 の削減		41	プラグインハイブリッド自動車・電気自動車等の次世代自動車を導入している。		
		42	運転を担当する従業員にエコドライブの実施を促している。		
		43	運転を担当する従業員又は従業員グループ別の燃費を把握している。		
		44	配送・配車計画の策定等により、効率的な輸送経路による運行を行っている。		
		45	共同集荷・集配などによる積載率の向上を図るため、事業者間の連携に取り組んでいる。		
		46	従業員のエコ通勤を推奨している。 (公共交通機関・自転車の利用等)		
6 廃棄物 の削減		47	3 R (リデュース・リユース・リサイクル) に取り組んでいる。		
		48	両面コピー、使用済みの裏紙使用、資料の電子化等により紙の使用量の削減を実施している。		
7 森林 の保全		49	森林の整備や保全活動に参加・協力している。		
8 緑化 の推進		50	敷地や建物(屋上・壁面等)の植栽や緑化をしている。		

# 排出係数

非表示シート

	1	2	3	4	5	6	7	8
エネルギーの種類	単位発熱量	発熱量単位	エネルギー単位	炭素換算	単位	CO2排出係数	単位	
原油(コンデンセートを除く。)	38.2	MJ/L	L	0.0187	tC/GJ	0.002619	tCO2/L	
原油のうちコンデンセート(NGL)	35.3	MJ/L	L	0.0184	tC/GJ	0.002382	tCO2/L	
揮発油(ガソリン)	34.6	MJ/L	L	0.0183	tC/GJ	0.002322	tCO2/L	
ナフサ	33.6	MJ/L	L	0.0182	tC/GJ	0.002242	tCO2/L	
灯油	36.7	MJ/L	L	0.0185	tC/GJ	0.002489	tCO2/L	
軽油	37.7	MJ/L	L	0.0187	tC/GJ	0.002585	tCO2/L	
A重油	39.1	MJ/L	L	0.0189	tC/GJ	0.002710	tCO2/L	
B・C重油	41.9	MJ/L	L	0.0195	tC/GJ	0.002996	tCO2/L	
石油アスファルト	40.9	MJ/kg	kg	0.0208	tC/GJ	0.003119	tCO2/kg	
石油コークス	29.9	MJ/kg	kg	0.0254	tC/GJ	0.002785	tCO2/kg	
液化石油ガス(LPG)	50.8	MJ/kg	kg	0.0161	tC/GJ	0.002999	tCO2/kg	
石油系炭化水素ガス	44.9	MJ/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.0142	tC/GJ	0.002338	tCO2/m <sup>3</sup>	
液化天然ガス(LNG)	54.6	MJ/kg	kg	0.0135	tC/GJ	0.002703	tCO2/kg	
その他可燃性天然ガス	43.5	MJ/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.0139	tC/GJ	0.002217	tCO2/m <sup>3</sup>	
原料炭	29.0	MJ/kg	kg	0.0245	tC/GJ	0.002605	tCO2/kg	
一般炭	25.7	MJ/kg	kg	0.0247	tC/GJ	0.002328	tCO2/kg	
無煙炭	26.9	MJ/kg	kg	0.0255	tC/GJ	0.002515	tCO2/kg	
石炭コークス	29.4	MJ/kg	kg	0.0294	tC/GJ	0.003169	tCO2/kg	
コールタール	37.3	MJ/kg	kg	0.0209	tC/GJ	0.002858	tCO2/kg	
コークス炉ガス	21.1	MJ/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.0110	tC/GJ	0.000851	tCO2/m <sup>3</sup>	
高炉ガス	3.41	MJ/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.0263	tC/GJ	0.000329	tCO2/m <sup>3</sup>	
転炉ガス	8.41	MJ/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.0384	tC/GJ	0.001184	tCO2/m <sup>3</sup>	
都市ガス	45.0	MJ/m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.0136	tC/GJ	0.002244	tCO2/m <sup>3</sup>	
産業用蒸気	1.02	MJ/MJ	MJ	0.060	tCO2/GJ	0.000061	tCO2/MJ	
産業用以外の蒸気	1.36	MJ/MJ	MJ	0.057	tCO2/GJ	0.000078	tCO2/MJ	
温水	1.36	MJ/MJ	MJ	0.057	tCO2/GJ	0.000078	tCO2/MJ	
冷水	1.36	MJ/MJ	MJ	0.057	tCO2/GJ	0.000078	tCO2/MJ	
電気	9.97	MJ/kWh	kWh	0.000456	tCO2/kWh	0.000456	tCO2/kWh	